

捕獲事件記録

書 記	檢 察 官	擔任評定官	拿捕船名			受理年月日	事件番號		
			米國サンパン アムコル號			昭和十七年一月十一日	第一〇號		
浦	立崎	佐藤	船長	ラレタ	拿捕セ	及指揮官	船部隊	拿捕シタル艦	佐世保捕獲審檢所
抗議期間満了日	終局年月日	訴願期間満了日	不明			上海洪務部長 海軍大佐中邑元司			
昭和十七年六月十九日	昭和十七年五月十七日	昭和十七年四月二十九日							

昭和拾七年貳月拾參日

佐捕乙第九五號

昭和拾七年貳月拾八日

佐捕乙第一〇一號

昭和拾七年六月廿日

佐捕乙第四四五號

昭和拾七年六月拾日

佐捕乙五一二號

(一) 控評定在氏名
佐捕乙第九五號

ヲ以テ内閣ノ受理ノ件報告

昭和拾七年六月廿日 取初十七年五月十七日書面審理ニ依リ捕獲ト檢定 同年六月二十日確定

ヲ以テ内閣ノ於テ主ノ件報告

昭和拾七年六月二十日晉任世保鎮守 勅令長官ニ檢定執行方囑託

ヲ以テ内閣ノ於テ主ノ件報告

文書ノ	標目	丁數	備考
供述書抄本	(拿捕士官石井徳和)	三	
聴取書	(船主エー・ピー・パチソン)	六	
誣查書		九	
意見書		一〇	
公告掲載方囑託	(及投込ジャパンタ イムス)	二	
申請書	(書面審理方)	二	
報告書	(控評定在氏名)	三	
中報掲載方囑託	(控評定在氏名)	四	
執事簿		五	
テロル抑殺事件事實調査書		六	

目録

左世民備養會所

上海港務部第二二二號ノ六三

供 述 書

附 名 別紙船給本類ニ係ル記載ノ通



一右ノ昭和十六年十二月八日支那方面艦隊司令長官ノ命ニ依リ上海港
 内ニ於テ拿捕セリ
 二拿捕ノ理由

調査ノ所有者共不明ニ付

ニ船類等類

ナ

右ノ通ニ有之候

昭和十六年十二月二十五日

上海港務部

中

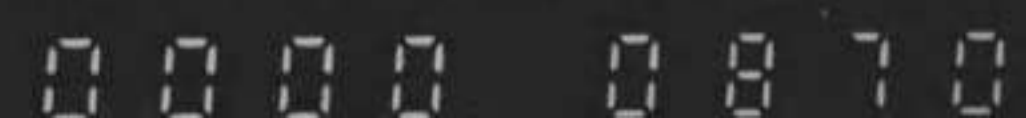
元

文 書 ノ 標 目

丁 數 備 考

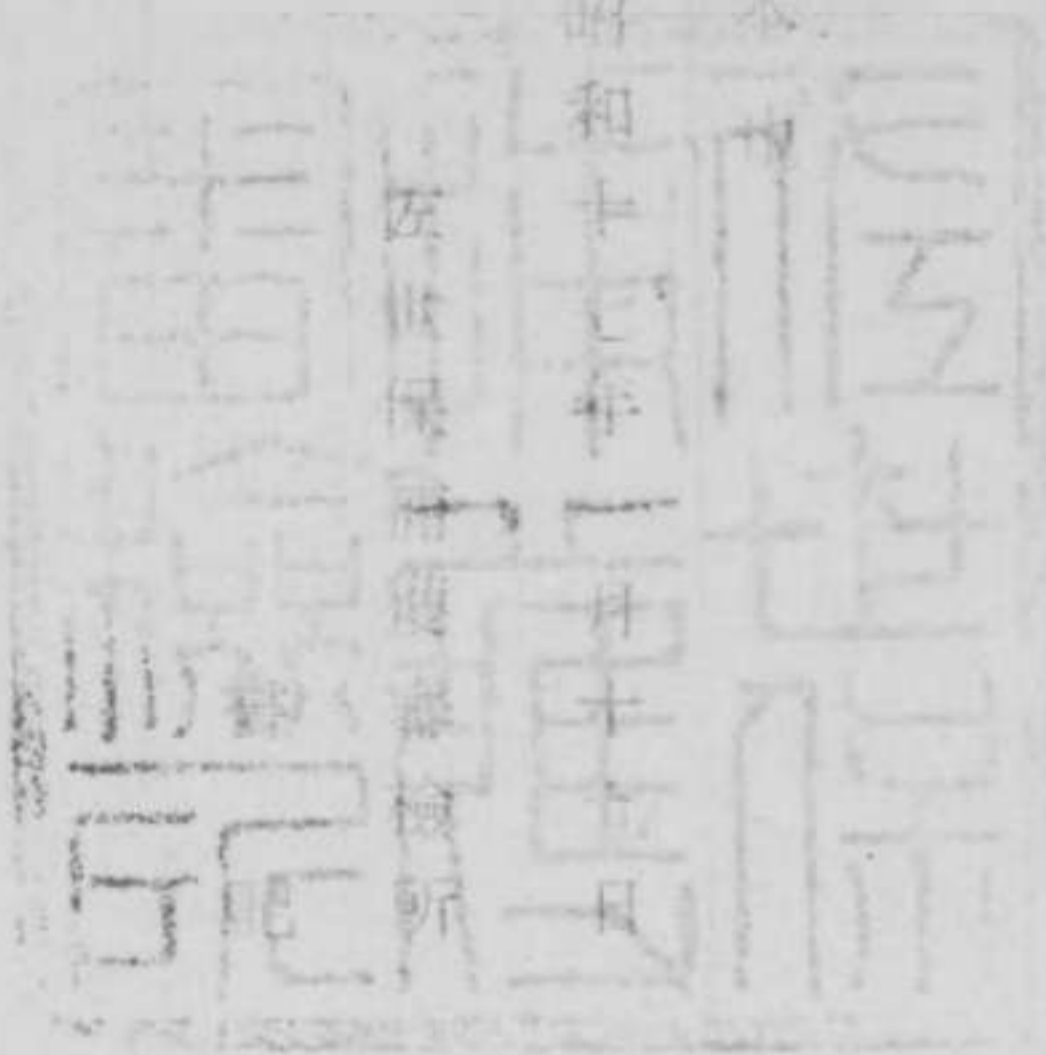
位廿位打獲者名目

日本標準規格B列四號



永

Amceel



杉

永

真

五

松永

佐世保補綴審檢所長殿

日本郵政省印刷局

聽取書

アムコル

捕獲事件ニ付昭和十七年

一月二十五日上海港務部ニ於テ評定官 佐藤信太郎

ニ對シ海軍豫備大尉石井徳和ノ爲シタル申供左ノ如シ

一氏名ハ 石井徳和

一年齡ハ 當三十八年

一官職等級ハ海軍豫備大尉

一所屬ハ 支那方面艦隊司令部附上海港務部長承命服務

一本官ハ昭和十六年十二月五日第一警戒隊江上警戒隊第二拿捕及警

戒隊指揮官ニ任セラレマシタ

第一警戒隊指揮官ハ上海港務部長海軍大佐中邑元司ガ兼任セラレ

テ居リマス

日本標準用紙

一字挿入
一字削除

一本官ハ第二拿捕及警戒隊指揮官ニ任命セララルト同時ニ第一警戒隊指揮官ヨリ黃浦江上蘇州河附近ノ曲角ヨリ吳淞鎮ニ至ル間ニ在泊中ノ米國、英國和蘭國、諸國、丁抹國、希臘國、巴拿馬國ノ船舶、交通艇、曳船、浮船等ノ動靜ノ調査ヲ命ゼラレマシタノデ「ロイド、レヂスター」江蘇關登録簿各船ノ掲揚シテ居ル國旗等ニ依ツテ其ノ國籍ト動靜ヲ調査致シマシタ
一同月八日午前四時三十五分第一警戒隊指揮官ヨリ上海港域内ノ敵國及敵性國ノ船舶ノ拿捕ヲ命ゼラレマシタノデ直ニ前日迄ノ本官ノ調査ニ依リ前述各敵國及敵性國ノ國籍ヲ有スルコト明瞭ナル船舶ノ臨檢拿捕ヲ實施致シマシタ

二の抹消
二十七の抹消

所有

國ノ船ヲテ又敵性明ナルニ依リ之ヲ拿捕シタメキマシ

- 一 本船ハ國籍所有者何レモ判明シマセニテ拿捕致シマシタ
- 一 拿捕當時本船ニハ船長ハ居リマセス 載代人モアリマセニテシ
- 一 本船ノ船舶書類ハアリマセス
- 一 本船ニ使用ニ適シマセス

ニ字列陳

5

右ハ書記之ヲ錄取シ本人ニ讀聞カセタルニ相違
ナキ旨陳述シタルニ依リ共ニ署名捺印ス

前同日同所ニ於テ

佐世保捕獲審檢所評定官

佐藤信太郎

佐世保捕獲審檢所書記

杉本真二

通

事

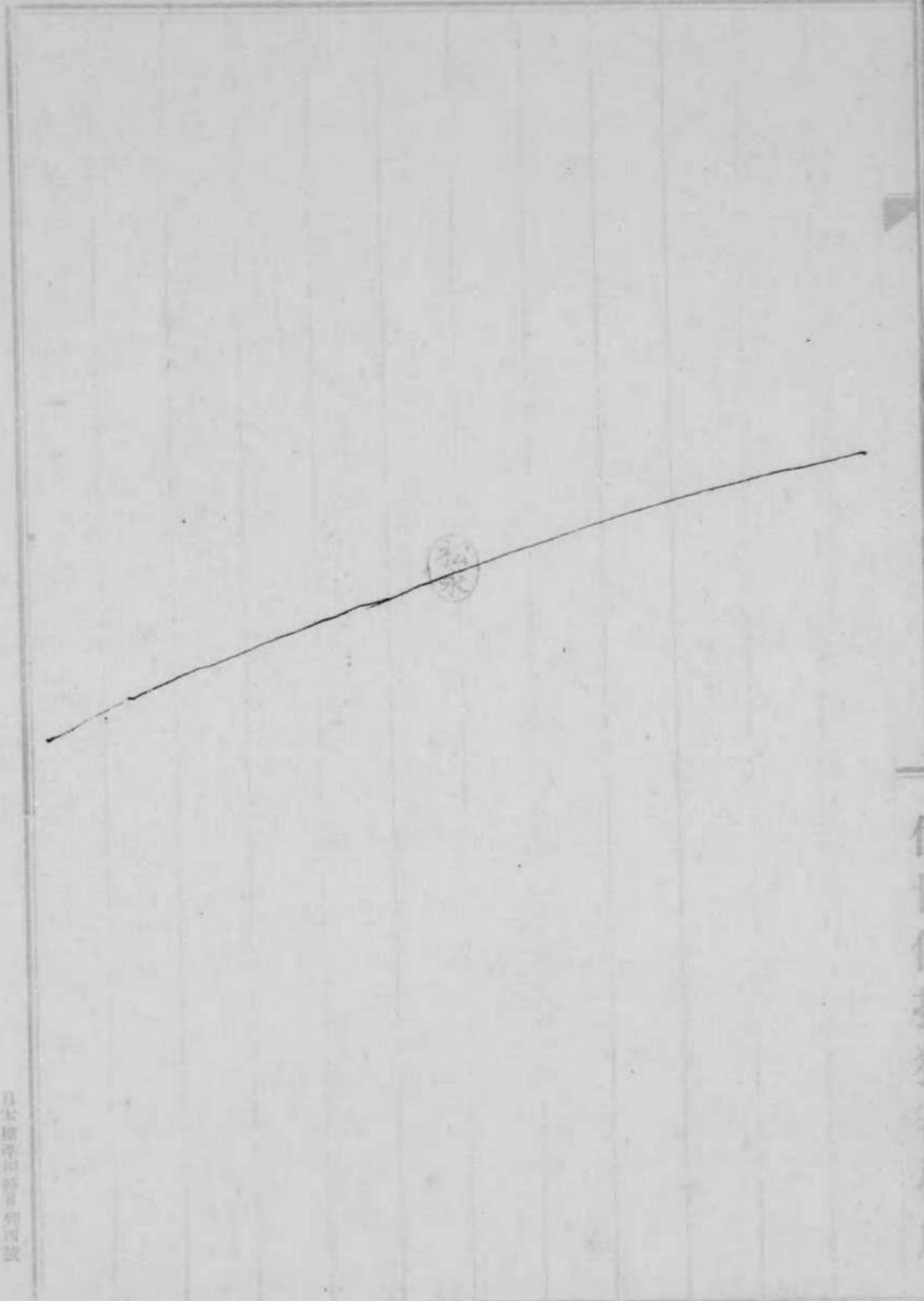
申

供

者

乃井 恒 和 四

5



聽取書

アノコル 捕獲事件ニ付昭和十七年

一月二十九日 上海 江海關 二於テ

評定官佐 後宮アノニ對シエー、ピー、パチ
ソノ 爲シタル申供左ノ如シ

一 氏名ハ エー、ピー、パチソン

一 年齢ハ 四十二歳

一 職業ハ 輸出入業者

一 国籍ハ 米米

一 住所ハ 上海佛租界白雲街

一 姓名ハ 佐藤 佐藤 佐藤 佐藤 佐藤

左世呆甫隻審檢所

申請書

前同日同機ニ就キ

官制並ニ...

本人ニ...

...

リ
三
二

一 本船、紅ノ新、有、大、者、道、アリ、三、也、又

一 本船、アムコルト、稱、シ、ハ、有、三、十、五

一 本船、上海、キ、エ、一、キ、ヤ、ン、ド、ウ、ク、テ、建

一 本船、五、三、三、三、五、一、タ、一、サ、ン、パ、ン、テ、ア、リ

一 本船、後、引、張、キ、和、新、有、一、層、シ

一 本船、船、籍、境、上、海、ハ、三、三、目、下、在

一 本船、上海、船、籍、領、子、館、ハ、三、三、甲、子

一 本船、船、籍、領、子、館、ハ、三、三、甲、子

一 本船、船、籍、領、子、館、ハ、三、三、甲、子

一 本船、船、籍、領、子、館、ハ、三、三、甲、子

第九號ノ一 日本標準相格B列四號

ア
三
二

一 本船、米、五、三、三、三、揚、揚、三、三、南、江、の、テ

一 本船、米、五、三、三、三、揚、揚、三、三、南、江、の、テ

一 本船、米、五、三、三、三、揚、揚、三、三、南、江、の、テ

一 本船、米、五、三、三、三、揚、揚、三、三、南、江、の、テ

一 本船、米、五、三、三、三、揚、揚、三、三、南、江、の、テ

一 本船、米、五、三、三、三、揚、揚、三、三、南、江、の、テ

一 本船、米、五、三、三、三、揚、揚、三、三、南、江、の、テ

一 本船、米、五、三、三、三、揚、揚、三、三、南、江、の、テ

一 本船、米、五、三、三、三、揚、揚、三、三、南、江、の、テ

一 本船、米、五、三、三、三、揚、揚、三、三、南、江、の、テ

一 本船、米、五、三、三、三、揚、揚、三、三、南、江、の、テ

一 本船、米、五、三、三、三、揚、揚、三、三、南、江、の、テ

一 本船、米、五、三、三、三、揚、揚、三、三、南、江、の、テ

右ハ書記之ヲ録取シ本人ニ讀聞カセタルニ相違
ナキ旨陳述シタルニ依リ共ニ署名捺印ス

前同日同所ニ於テ

佐世保捕獲審檢所評定官

佐々藤信太郎



佐世保捕獲審檢所書記

浦友之丞

道事

申供者

Messrs. Pellison

第一〇号

九七 號

調 査 書

「アムコル」
 了へタルヲ以テ之ガ取調書類ハ拿捕シタル艦船部
 隊指揮官ノ供述書ト共ニ別冊記録ニ編綴致置候條
 供述書ノ附屬書類相添へ別冊記録及送付候

昭和十七年二月十二日

佐世保捕獲審檢所

擔任評定官

佐々藤信太郎



佐世保捕獲審檢所檢察官

御 中

Vertical columns of text, including a large handwritten signature '佐々藤信太郎' and various official stamps and notes.

意見書

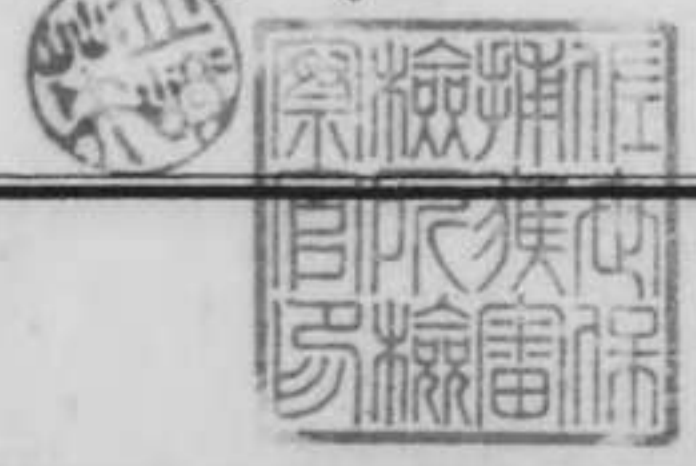
本件事案ヲ精査致候處右ハ敵艦ヤルエト
明ナルヲ以テ捕獲ストノ檢定可相成モノ
ト思料候也

昭和十七年三月十七日

佐世保捕獲審檢所

檢察官

徳永 英吉
立崎 英



佐世保捕獲審檢所

擔任評定官佐藤信太郎 殿

佐捕第三十號 B 第列五號

[Faint, mostly illegible text on the reverse side of the document, possibly bleed-through or a separate page.]

御用事務官 御用事務官
御用事務官 御用事務官

御用事務官
御用事務官
御用事務官
御用事務官

御用事務官

御用事務官

御用事務官

御用事務官



本件ニ付昭和十七年三月二十四日在捕乙第一八五號ヲ以テ内閣印刷局
官報部官報係並ニ「シヤパンタイムス」社ニ左記要領ノ公年編製方ヲ
委託シタリ

昭和十七年三月二十四日

佐世 保捕 狩 等 檢 所

記

本件船舶ハ昭和十六年十二月八日上海港内ニ於テ帝國海軍ノ爲拿捕
セラレ當該ニ於テ審裁ヲ爲スニ依リ利害關係人ハ公年ノ翌日ヨリ送
算シテ三十日以内ニ書面ヲ以テ官廳ニ訴願スルコトヲ得
右公年ス

昭和十七年三月二十日官報並ニ「シヤパンタイムス」ニ公年送
記

昭和十七年五月十六日 佐世保捕獲審檢所 第一〇號

本公署ニ
昭和十七年五月十六日 佐世保捕獲審檢所 第一〇號

本署ニ於テ
昭和十七年五月十六日 佐世保捕獲審檢所 第一〇號

佐世保捕獲審檢所 第一〇號

昭和十七年五月十六日

本署ニ於テ
昭和十七年五月十六日 佐世保捕獲審檢所 第一〇號

申請書

捕獲事件第一〇號

右事件ニ付利害關係人ヨリ法定期間内ニ訴願書ノ提出
ナキヲ以テ審問ノ手續ヲ爲サス直ニ檢定相成度候也

昭和十七年五月十六日

佐世保捕獲審檢所檢察官 立崎英

佐世保捕獲審檢所長官 草野豹一郎殿

佐世保捕獲審檢所

13

報告書

本件検定書謄本ハ昭和十七年五月三十日當廳検査官ニ
送付シタリ

昭和十七年五月三十日

佐世保彌養榎所

書記

浦

克

之



第
一
〇
號

本件ニ付昭和十七年六月二十日佐捕乙第四四四號ヲ以テ内閣印
刷局官報係ニ檢定竝ニ該檢定ハ昭和十七年六月二十日確定シタ
ル旨ノ公告掲載方囑託ヲ爲シタリ

昭和十七年六月二十日

佐 世 保 捕 獲 審 檢 所

昭和十七年六月二十五日官報掲載

13

佐緒甲第九〇號



米國サンパンアムコル號

右ハ別紙檢定書ノ通補發ト檢定相成確定致候條費應ニ於テ相當海軍官衙ニ執行トシテ引渡相煩度補發密檢令第三十條ニ依リ此段及囑託候

追而引渡ノ上ハ受領者ヨリ別紙受領書ヲ徴シ回送方御取計相成度

昭和十七年六月二十五日
佐世保補發密檢所

檢察官 德 永 榮 吉

佐世保鎮守府司令長官谷本馬太郎殿

佐緒甲第九〇號
米國サンパンアムコル號
右ハ別紙檢定書ノ通補發ト檢定相成確定致候條費應ニ於テ相當海軍官衙ニ執行トシテ引渡相煩度補發密檢令第三十條ニ依リ此段及囑託候



16

一字抹消

六 宗教學術又ハ博愛ノ任務ヲ帯ブル船舶ナリヤ否ヤ

不口



五 沿岸漁業船又ハ地方的小航海用船ナリヤ否ヤ

四 従事セル業務
「モーター・サンパン」

三 所有者
（備船者）
米人「エー、ピール、パクソン」

登簿噸數 不明

二 噸數
總噸數 約五噸

一 船名 「アムコル」

米人「エー、ピール、パクソン」所有「サンパン」「アムコル」
号補綴事件事實調査書

七 國籍證書ノ他ノ船舶書類

十レ

八 載貨及其ノ所有者

十レ

六 拿捕ノ年月日

昭和十六年十二月八日

一 二 拿捕ノ場所

上海港内

二 拿捕者ノ氏名

海軍予備大尉

石井徳和

一三 拿捕ノ理由

国籍及所有者不明ナリシニ依ル

一四 掲揚セル國旗

米國

一五 訂正

一四 船籍港

上海 (月下手續中)

一五 製造ノ年

一九三五年

一六 船長名

不明

捕獲トスベキヤ解放スベキヤ擔任評定官ノ意見

捕獲

解放

者略

載貨ノ處分

解放 沒收

受領書

(事件第一〇號)



米國サンパンアムコル號

右補獲事件檢定確定ノ上執行トシテ引渡ニ付檢定書ノ謄本ト共ニ受領致候

昭和十七年七月三十一日

海軍省兵備局長保科善四

佐世保補獲審檢所

檢察官 徳永榮吉殿

海軍